約3倍の石鹸成分高配合

ロゼット　「ロゼット洗顔サボン」発売

〝濃密もち泡〟で肌悩みの原因にアプローチ

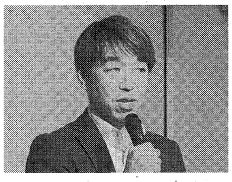
ロゼットは1月14日、今年で95周年を迎える人気ブランド「ロゼット洗顔パスタ」と同様に石鹸成分をベースとした石鹸処方採用の泡洗顔料「ロゼット洗顔サボン」（本品180㎖770円、詰め替え170㎖660円）を発売する。これに先立ち昨年12月12日、東京都港区のラコレッツィオーネで発表会を行った。

ラインアップは2品で、ビタミンC誘導体を始め、独自の保湿成分であるスムースクレイエキスやクリアローズフルーツを配合し、スッキリとしたサラサラ肌に導いて、しつこい毛穴汚れをオフする「ロゼット洗顔サボン　スムースウォッシュ」と、ニキビや肌あれを予防する有効成分のグリチルリチン酸2Kと、保湿成分のドクダミエキス配合の「同　アクネウォッシュ【医薬部外品】」を取りそろえた。

両品の共通する仕様として、自社における従来の泡洗顔料と比べ、約3倍の石鹸成分を高配合。これまでに無い泡持ちの良さと、うるおうのにスッキリとした洗い上がりを実現している。また、弾力のあるキメ細かい〝濃密もち泡〟が肌に密着し、汚れを吸引して吸着。肌悩みの原因になりやすい、皮脂や古い角質にしっかりとアプローチする。なお「同　アクネウォッシュ【医薬部外品】」は、ニキビのもとができにくい処方としたノンコメドジェニックテスト済みはもちろん、デリケートな肌でも使いやすい低刺激処方かつ敏感肌パッチテスト済み。ニキビや肌あれが気になる肌でも使いやすく仕上げた。

柏木が商品をアピール

発表会では冒頭、マーケティング部の山本欽章部長があいさつし「消費者に満足してもらえる使用感に達するまで数々の工夫を凝らし、約6年を要して完成に至った。パッケージデザインにおいては、ブランドのルーツである『ロゼット洗顔パスタ』を踏襲したあしらいに仕上げたなど、社内でも商品に対する期待がとても高まっている」と意気込みを述べた。



あいさつに立つ山本部長

次に、商品企画担当の辺土名巣穂氏が開発背景について「自社製品の使用者を対象にクチコミ調査したところ『洗い上がりは気に入っているが、忙しい朝や疲れを感じる夜などでの泡立てが面倒』や『もっとスッキリできる洗顔料がほしい』などの理由で、他社の泡洗顔料を併用している人が多いことに着目して開発した」とし「泡洗顔としての利点をそのままに、まるでフォーム洗顔で洗っているかのような満足感を得られるのが商品の魅力」とアピール。

続いて、研究部で処方開発担当の田川絢乃氏が開発にまつわるエピソードとして、固形の石鹸成分を配合する上で、泡を生成できるポンプ式容器を採用するにはメッシュに剤型が詰まりやすく相性が悪かったことや、それらの課題を解決するべく数百回もの施行錯誤を繰り返した結果、石鹸成分の黄金比を発見したことなどを明かした。

その後、ゲストにタレントの柏木由紀を招き、美容やスキンケアに関するトークセッションを実施。柏木は「使ってみると洗い上がりがとても良く、肌のツッパリも感じなかったです。まるでスキンケアをした後のような感覚を得られました。以前から泡洗顔派でもあるので、とても気に入っています」と商品の魅力を会場でアピールした。

大正製薬「トリニティーライン」　最高濃度のセラミド配合

大正製薬は昨年11月1日、スキンケア商品「トリニティーライン　モイスト　クリーム」（30g3850円）を自社ECサイトで数量限定発売した。

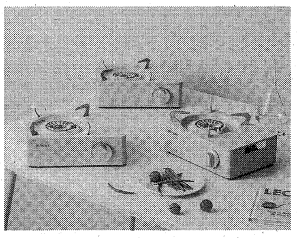
ブランドにおける配合濃度ナンバーワンのセラミド以外にも、ハリ付与成分の「発酵柴根エキス」と「発酵イソフラボン」を始め、整肌成分の「発酵熟成プラセンタ」と「発酵イチジクエキス」、保湿成分の「発酵ヒト型セラミド」の5種の天然発酵エキスを配合。乾燥や肌あれを防ぐと共に、うるおいとハリに満ちた、つややかな肌に導く。

同社は「元々、人の肌にあるセラミドは、健やかで美しい肌を構成するための重要な成分の一つであるが、加齢や日々の生活などで減少してしまう。特に、秋冬のシーズンでは空気の乾燥が厳しくなる」とし「美容クリームなどで積極的に保湿を行うことが大切。空気の乾きが厳しくなる時期の悩める肌に、ぜひ商品を試してみてほしい」とアピールしている。

うるおいとハリに満ちた肌を叶える

TTS　韓国発人気小型カセットコンロ投入

カセットボンベやカセットコンロ、また喫煙具の製造・販売並びに輸出入事業を行うTTSは、日常生活に心地よい空間をつくり出す韓国発のキッチンウエアブランド「Dr.HOWS（ドクターハウス）」から、テーブルが明るくなるパステルカラーのミニサイズが魅力のカセットコンロ「トゥインクル　ミニストーブ」（重量約1・3kg、サイズ26cm×18cm×12cm）を発売した。



日本基準の安全性もポイント

全品共通する仕様として、点火時に炎が渦巻き状に燃焼する内炎式トルネードバーナーを採用し、火力が強いだけでなく風が吹いても火が消えにくいのが特長。炎の広がりを抑え、鍋底へ集中的に熱を加えるのはもちろん、熱損失が少なくしてボンベの消費を抑える。また、ボンベが過度に熱せられボンベ内の圧力が異常に高くなると自動的に火が消える「圧力感知安全装置」や器具のせんつまみがオフの状態に無いとボンベが装着できない「容器装着安全装置」を搭載した上、日本国内で販売が許可される「日本認証PSLPGマーク」を取得しているなど、機能の安全性を追求したのもポイントだ。

本体は、天板全体が外れる設計とし、汚れの付きやすい上部の天板を一体化。より洗いやすく清潔に使用することができる。更に、優しい色合いがキュートなアイボリーの保管ケースを付属し、アウトドアでの使用時でも、そのまま持ち出しやすいよう仕上げた。カラーは、レモンイエローとピンク、ピスタチオの3色を取りそろえる。

商品担当者は「オシャレさや可愛さ、色合いにこだわったカセットコンロは市場であまり展開されておらず、希少性の高いアイテムでもある。日本で販売される前から、韓国好きな消費者やインフルエンサーなどからSNSを中心に話題を集めてきたが、韓国製のアイテムを使っている人も少なくないようだ。商品は、日本の基準に合わせて製造したものであり、本体のサイズに合わせた『トゥインクル　カセットガスボンベ　3Pセット』も用意している。安全性の観点からも、ぜひ日本のモデルを試してみてほしい」と述べている。

日本ペット用品工業会　JPPMAマーク認知と普及目指す

日本ペット用品工業会は、業界内のみならず経済産業省や環境省、農林水産省並びに関連団体との連携を図りながらペット用品における規格と基準を策定し、安全安心かつ高品質なペット用品の製造、販売を促進する取り組みに力を入れている。

「ペット用品統一表示ガイドライン」は、消費者利益の保護とペット用品の品質向上を目的に、ペット用品を対象に原産国や成分、また原材料、使用方法、注意事項などについて事業者が表示すべき事項を定めたもの。犬や猫、観賞魚、小鳥、小動物、昆虫、爬虫類の各分類での用品カテゴリーごとに表示規定と表示例を加えてまとめている。これらにより「商品を購入する時に適切な情報を受け取れる」と多くのペットユーザーから好評を得ているという。

日本ペット用品工業会
JPPMA
統一表示
適合品証

ガイドラインに基づいたマークを発行

ガイドラインに基づき情報が表示されている商品には「統一表示適合品証」を示す公式マークを発行。消費者に向けて、安心できる商品であることをアピールするべく、更なる認知と普及を目指している。

これ以外にも、犬具の散歩や係留品、観賞用ヒーターを対象に、強度や表面温度などの品質基準を設け、これらの品質基準をクリアした商品に限り「品質基準適合品証」を発行している。また、犬具の散歩や係留品に関してはJIS規格の原案を策定。日本産業規格（JIS S9100）飼い犬用引きひも「紐」、首輪及び胴輪―強度及び表示）としても制定されている。

同会は「消費者がペット用品を選ぶ際の分かりやすい目印として役立てられているのが強み。今後も、消費者を始めメーカー、小売業者など、ペット用品に関わる全ての対象者に対し、ガイドラインやマークの有用性を訴求していき、安全安心なペット用品を提供できる環境づくりを目指していく」と意気込みを示している。

―生活用品―

株式会社　八木橋

本　社　〒113-0031　東京都文京区根津1-18-2
TEL03-5832-5560　FAX03-5832-5570
営業本部　〒157-8508　東京都世田谷区成城2-8-20
TEL03-3415-4351　FAX03-3416-5522
営業所　喜多見、川崎商品センター

日本セーフ・ファニチュア協同組合連合会

日セフ連

会長　渡邉秀隆
副会長　田中稔彦　上嶋光弘　鶴見哲男
熊平明宣　清野　宏　平尾信幸
瀧口　研

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-10-3　TEL.03-6659-6248 FAX.03-6659-6249